

足立区長賞

「未来への贈り物」

足立区立 千寿青葉中学校

三年 鈴木 琴音

小さな子どもの笑顔を見ると、未来が明るくなるように感じます。けれど、その笑顔の裏には、家族の努力や社会の支えがあることを忘れてはいけません。子どもを育てることは決して簡単なことではなく、そこには多くの時間やお金が必要です。その大切な支えの一つが「税金」であり、足立区でもさまざまな取り組みが行われています。

例えば、二〇二六年度に小学校や中学校へ入学する子どもには、一人あたり十万円の入学準備金が支給されます。制服やランドセル、学習用品など、入学には多くのお金がかかります。その負担を減らすことで、すべての子どもが安心して新しい学校生活を始められます。

また、中学校三年生には修学旅行の費用が最大七万三千円ほど補助されます。私も実際親に聞いたところ、「とても助かった。」と話していました。修学旅行はただの旅行ではなく、仲間と共に学び、経験を広げる大切な教育活動です。そのため、補助金があるおかげで、みんなが修学旅行に参加できます。

さらに、出産や子育てを応援する制度も充実しています。妊娠した方や生まれた子どもには、五万円相当のギフトが支給されます。保育園や幼稚園の利用料にも補助があり、最大で月に数万円が支給される仕組みがあります。これらの制度は、子育てにかか

る経済的負担を軽くし、安心して子どもを育てられる地域をつくることにつながっていると思います。

こうした制度を調べて感じたのは、税金はただ取られるだけのものではなく、「誰かを支える力」だということです。税金があるからこそ、困っている人を助けたり、子どもたちの学びを守るることができます。

これまで支えられてきた経験を胸に、私は将来、支える存在として社会に貢献したいです。

税金は、次の世代を育てるために私たちがつなぐ「未来への贈り物」です。